

私にも  
言わせて!  
第146回

複雑な現代を生きる人々の  
Well-beingを公衆衛生の現場から  
実現したい



兵庫県西播磨県民局龍野健康福祉事務所(龍野保健所) 所長 兼 赤穂健康福祉事務所(赤穂保健所) 所長

まるお あやこ  
圓尾 文子

(2024年本屋大賞「成瀬は天下を取りに行く」の舞台) 滋賀県立膳所高校卒業。一浪を経て入学した神戸大学医学部を1995年に卒業後、神戸大学第二外科入局。兵庫県立姫路循環器病センター、こども病院などで勤務。心臓血管外科専門医・修練指導医。日本胸外科学会評議員。2023年10月兵庫県入職。

臨床現場で感じていた課題と迫りくるVUCA時代\*<sup>\*</sup>に向き合うために、大好きな手術と病院から離れて行政に飛び込んで1年余り。多くの「縁に助けられ毎日楽しく奮闘中の54歳です。」

\* Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(あいまい性の頭文字を取った造語。変化が激しく、先行きが見えにくく、複雑で、あさましい状況の意味する。

心臓血管外科専門医から  
公衆衛生医師へ

初期研修医制度もないナンバー医局の時代に、手術に憧れて神戸大学第二外科に入局し28年。心臓血管外科専門医、修練指導医として若手指導にも力が入っていたある日、兵庫県の行政医師に公衆衛生医師への誘いを受けました。2か月間悩みましたが、医療現場でのさまざまな課題がどんどん複雑化する中、コロナ禍を経て働き方改革を迫られ、余計に疲弊する医療従事者のWell-being(身体的・精神的・社会的に満たされた状態)

であってほしいです。

地域づくり

私が現在勤務しているのは兵庫県西播磨県民局の龍野と赤穂の2つの事務所で4市3町を所管しています。人口は合計で24万人、高齢化率は35%。人口減少の加速は兵庫県の平均より急峻です。医師数は人口10万人当たり167人と兵庫県でも最低レベルです。保健所長として市町のさまざまな会議に出席しますが、初心者の私には到底公衆衛生の立場から意見できる域がなく、まるで小学生の社会見学のようなのです。在宅医療介護連携など医療のことから食育改善推進、自殺対策、要保護児童対策、空家対策、被害者支援などの社会課題の多様さに多くのことを考えさせられます。一方、これらに関わる地域の強力なプレーヤーが何人かいらつしゃいます。この宝のような人々は地域の強みであり、この方たちと連携すれば、ものすごく楽しい協働ができる可能性を感じています。

縮小する医療需要、確保困難な医療従事者と西播磨では医療確保

は一臨床医では実現不可能なのかと悩んでいたのですが、立場を変え、ことに賭ける気持ちで行政に飛び込みました。初めは保健所が何をやる場所かも分からずでしたが、公衆衛生エキスパートの前所長と気鋭の企画課メンバーの仕事ぶりに「これが行政。」と良い方向に期待を裏切られ、初めて知ることばかりの刺激的なスタートを切りました。

公衆衛生医師とは

保健所の多岐にわたる業務内容を理解するにつれて、臨床の時から気になっていた「健康」に医療が非常に厳しくなっています。地域の医療従事者が悲観、疲弊してしまわないよう、より良い「補充」を目指して情報提供や協議の場を活用しながら連携推進を進め、なるべく尽力したいと思っています。

世界が平和になるように

ニュースを見ていると人が人を傷付ける場面に心が痛みます。外科医時代、病院では患者さんが死なないようにチームで細心の注意を払って管理するのに、病院の外で人が人を殺すことを医師なのに止められないのか、と心苦しう思っていました。今も思っています。戦争もそうですが、身近にも虐待、暴力、自死などがあります。大変難しい課題だとは思いますが、人が人を傷つけなくても良い世界になってほしいです。また、気候変動は揺るぎない脅威となり、VUCA時代の健康危機課題を危惧していたことも公衆衛生に転向した理由の一つでした。これらに立ち向かう武器は平時のつながりにほかならないと思っています。幸い、私は人との縁に相当恵まれ、昨年は地域の医師会の先

寄与するのは10%、後はその他の要因という事実に対して、医療以外のすべてに関われるのが保健所だということが分かってきました。感染症対策、難病、精神、食品薬務衛生、そして福祉。病院では、この患者さんは病気が治ったからといって、幸せになっているのだろうか、と思うことが多々ありましたが、その健康の社会的決定因子にアプローチできるのが公衆衛生で、人々が健康で幸せに暮らせるようになるには医療と公衆衛生の連携が重要と考えるようになりました。

保健医療計画と  
地域医療構想

保健医療計画や地域医療構想も新たに学びました。兵庫県では病院の医師が保健医療計画の存在すらほとんど知らないと思います。生とACP(アドバンス・ケア・プランニング)人生会議の啓発動画を制作するという楽しい事業もありました(図)。今後も研鑽を積み、自分の周囲から楽しい平和な社会を実現していきたいです。全国の皆さまともつながって夢をかなえられるようどうぞよろしくお願いたします。

図 兵庫県西播磨ACP(人生会議)啓発キャンペーン

伝えておこう私の気持ち  
聞かせてくださいあなたの気持ち  
～ACP(人生会議)してみませんか～

YouTube動画

えー Cocoroがけ プロジェクト

R6 兵庫県西播磨ACP(人生会議)啓発キャンペーン

「期待の若手シリーズ 私にも言わせて!」は、  
全国保健所長会ホームページに  
バックナンバーが掲載されています。

全国保健所長会 月刊公衆衛生情報

で検索してください

[http://www.phcd.jp/update/archive\\_02\\_j\\_koushusei\\_watashi.html](http://www.phcd.jp/update/archive_02_j_koushusei_watashi.html)